

2024年4月14日  
4月第二主日礼拝式



# 「聖書名目づくし」(子ども賛美)

## 旧約聖書

1. そう、しゅつ、レビ、みん、しんめいき  
ヨシュア、しし、ルツ、サム、れつおう  
れきだい、エズ、ネヘ、エステル書  
ヨブ、詩、しんげん、でんどう、がが
2. イザヤ、エレ、あい、エゼ、ダニル  
ホセア、ヨエ、アモ、オバ、ヨナ、ミ  
ナホム、ハバクク、ゼパ、ハガイ  
ゼカリヤ、マラキ、さんじゅうく(39巻)

【次】

# 「聖書名目づくし」(子ども賛美)

## 新約聖書

3. マタイ、マコ、ルカ、ヨハネ伝  
使徒、ロマ、コリント、ガラテヤ書  
エペソ、ピリ、コロ、テサロニケ  
テモ、テト、ピレモン、ヘブル書
4. ヤコブ、ペテロ、ヨハネ、ユダ  
ヨハネの黙示、にじゅうしち(27巻)  
旧、新、両約あわせれば  
聖書の数は ろくじゅうろく(66巻)

# 118 威光・尊厳・栄誉

世界中 どこでも 新しい 歌をささげよ  
主に歌え ほめたたえよ  
み救いの知らせを告げよ  
まことに主はおおいなる方  
賛美されるべき方  
威光と尊厳と栄誉 光栄と力  
ただ主だけを礼拝せよ  
天を造り 支えている主

新聖歌21番 「輝く日を仰ぐとき」

- 1 輝く日を仰ぐとき 月星(つきほし) 眺(なが)むるとき  
雷(いかずち)鳴り渡るとき まことの御神を思う  
  
\* わが魂(たま) いざたたえよ 大いなる御神を  
わが魂(たま) いざたたえよ 大いなる御神を
- 2 森にて鳥の音(ね)を聞き そびゆる山に登り  
谷間の流れの声に まことの御神を思う  
( \*くりかえし )
- 3 御神は世人(よびと)を愛し ひとりの御子を降(くだ)し  
世人の救いのために 十字架にかからせたり  
( \*くりかえし )

新聖歌21番 「輝く日を仰ぐとき」

4 天地(あめつち)造りし神は 人をも造り変えて  
正しくきよき魂(たましい) 持つ身とならしめたもう

\* わが魂(たま) いざたたえよ 大いなる御神を  
わが魂(たま) いざたたえよ 大いなる御神を

5 間(ま)もなく主イエスは来たり われらを迎えたまわん  
いかなる喜びの日ぞ いかなる栄えの日ぞ

( \*くりかえし )

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌247番 「 神の賜う安けさは 」

1 神の賜(たも)う安けさは 川のごとく流れ来て  
この心をうち浸(ひた)し 世にあること忘れしむ

\* 主の手にある魂(たましい)を ゆり動かすものあらじ

2 来(き)なば来たれ試みよ 襲いかかれ悪しき者  
主に隠れし魂(たましい)の などて揺らぐことやある

\* (くりかえし)

3 主は真実(まこと)にましませば み約束にたがいなし  
主の恵みのふるまいに わが心は満ち足りぬ

\* (くりかえし)

アーメン



# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン